

前回、なんだか全然レースに関係の無い話題で、しかも、めちゃくちゃプライベートな内容に終始してしまい、少し反省してこの辺でちょっとだけ肩の力を抜いたコトを書こうと思った。

これまで様々なレーシングマシンを見たり、触れたりしている訳だけど自分史上で心に残る、「この1台」というのは実は数少ない。

① ポルシェ : 962C

スポーツカー選手権に圧倒的な強さと多さ(笑)で活躍。

956(注:F4の956ではない。念の為・・・)からの堅いモディファイで

とにかく、信頼性と性能がカンペキにバランスしていた名車だと思う。

実は当時、トヨタやマツダのCカーも結構好きだったんだけど、やっぱりレーシングカーを製作する上での哲学が最もシンプルだった。

今でも大好きな1台。

② マクラーレン : MP4/13

98年1月、英国にいた時に、バスの中でたまたま読んでいた **Auto Sport** の写真を見かけて思わず、「うおー、これは速いっ！」と絶叫してしまった。他の乗客に変な目で見られた。

後日、周囲にいた仲間達と「今シーズンはどこが勝つ？」という話になって、そのほとんどが「やっぱりウィリアムズだね」とクチを揃えるなか、私ひとりだけ「ぜったいマクラーレンだ！」と譲らなかった。その後の結果は言うまでも無い。

なぜ、あの時一瞬にして「速い！」と直感したのかは不明ではあるが、今見ても何か凄みを感じるのには確か。

他にも思い入れのあるクルマは数多くあるんだけど、今のところこの2台の衝撃度を凌駕する逸品には未だ、お目に掛かっていない。